



ローマ字のつづり方にはどんなのがあるの

3種類あるローマ字のつづり方

ローマ字のつづり方には、訓令式、ヘボン式、日本式の3種類があります。小学校で学習するローマ字は訓令式で、中学校で習い始める英語では、自分の名前をヘボン式で書きます。日本式は、あまり学習する機会がありません。

訓令式は、1937(昭和12)年に内閣訓令で発表されたつづり方です。その後、少し変更して、1954(昭和29)年に内閣告示をもって、再び発表されたものです。

ヘボン式は、アメリカ人ヘボンが、英語の発音にもとづいて発表したつづり方です。その後、修正され、今でも広く使われています。

訓令式とヘボン式のつづり方のちがい

訓令式やヘボン式を使ってローマ字を書くときには、それぞれ、書き方の決まりがあります。「天文」「新聞」「官報」を訓令式とヘボン式で書くと、次のようになります。

訓令式 tenmon sinbun kanpo

ヘボン式 temmon shimbun kampo

日本式

日本式は、ヘボン式に対して、1886(明治19)年、田中館愛橘らが発表したつづり方です。訓令式とちがう点は、ダ行の「ヂ」「ヅ」はdi, duと書く点や、「チャ」「チュ」「チヨ」はdya, dyu, dyoと書くなどです。(監修・田代 脩)

